

## 第17回人間サイズのまちづくり賞 各部門表彰対象の概要

### 〇知事賞

部門	番号	件名 (所在地)	表彰対象者	
			概要	
まちなみ建築部門 (知事賞)	1	竹中大工道具館新館 (神戸市中央区熊内町 7-5-1)	(事業主) 公益財団法人竹中大工道具館 (設計者) 株式会社竹中工務店 (施工者) 株式会社竹中工務店	
		  <p>外観                      展示室</p>	日本で唯一の大工道具博物館の移転建て替えである。展示スペースの確保と景観への配慮を両立するため、地上1階・地下2階の建物構成とすることで、六甲山系から連続した緑を残し“都市の中の森”を形成している。内装の壁や天井の仕上げなど施設の随所にも伝統技術が活かされており、展示物のみならず、建物自体からも、わが国におけるものづくりの精神と技術の粋を学ぶことができる。	
	2	平福交流推進施設 宿場町ひらふく「お休み処瓜生原」 (佐用町平福 439)	(事業主) 佐用町 (設計者) 有限会社一級建築士事務所アトリエフォルム (施工者) 株式会社熊淵建設	
		  <p>外観                      カフェスペース</p>	宿場町の風情や佐用川沿いの景観など平福の歴史を現在に伝える古民家の改修である。長年空き家状態であったが、地元住民によるワークショップを重ね、外観はそのままに、地域交流推進施設として内装の大幅なリフォームを実施。地元住民で構成する「平福文化と観光の会」が管理運営を行い、カフェ・休憩所として利用されているほか、住民による作品展も開催されており、地域活性化に貢献。	
	3	西出町会館 (神戸市兵庫区西出町 2-5-5)	(事業主) 西出町自治協議会 (設計者) 一級建築士事務所北野工作室 (施工者) 株式会社岩崎工務店	
		  <p>外観                      多目的ホール</p>	今も江戸時代のまち割りを遺す兵庫区西出町の路地に位置する自治会館である。造船と商家のまちという地域の歴史を感じさせるとともに、路地のスケール感や風情を損なわない外観が特徴となっている。密集市街地の中で一定の耐震性を確保し、地域住民にとって安全・安心な「第二の家」となっている。また、高い断熱性と気密性を確保するなど、環境にも配慮した施設となっている。	

部門	番号	件名 (所在地)	表彰対象者
			概要
まちなみ建築部門 (知事賞)	4	幼保連携型認定こども園 かすが花の子園 (丹波市春日町黒井 470-1)	(事業主) 社会福祉法人春日福祉会 (設計者) 株式会社藤田建築設計事務所 (施工者) 株式会社森津工務店
		  <p>外観 エントランスホール</p>	のどかな田園風景の中に位置する幼保連携型認定こども園である。高さを抑え周辺の景観に同化するように配慮された外観となっている。施設内では、徹底した指詰め防止策など、園児の安全確保のため工夫が随所になされている。内装には県産木材を多く使用し、柔らかさと暖かさを演出している。定期的な園庭の開放や子育て相談会の実施など地域にも開かれている。
	チャイルド・ケモ・ハウス (神戸市中央区港島中町 8-5-3)	(事業主) 公益財団法人チャイルド・ケモ・ハウス基金 (設計者) 株式会社手塚建築研究所 (施工者) 積水ハウス株式会社	
	  <p>外観 ハウス (家族向け病床)</p>	小児がんの子どもとその家族と一緒に暮らしながら入院治療を受けることができる日本初の小児がん専門施設である。診療所とハウス(家族向け病床スペース)で構成されており、「がんになっても笑顔で育つ」をスローガンに、小児がんの子どもに「当たり前な生活」を提供することを目指している。施設運営に対しては、常時ボランティアを受け入れており、様々な地域の方々や企業ともつながりを持った施設となっている。	

部門	番号	表彰対象者（活動拠点）	代表者名
			概要
まちづくり活動部門（知事賞）	1	城下町洲本再生委員会 (洲本市)	のぐち じゅんこ 野口 純子
		  <p>レトロなまち歩き (年2回開催イベント)</p> <p>こみち食堂 (空き家改修)</p>	中心市街地の古い町屋が多く残る路地に、食堂やカフェ、アトリエショップ等を誘致し「レトロこみち」として再生するなど、洲本の魅力発信と地域の活性化や定住促進支援に取り組む。再生した路地を中心に「城下町洲本レトロなまち歩き」イベントを年2回開催（島内外から毎回1万人以上が参加）。本団体の活動により、地元商店街には新たに30店舗以上が開店するなど、地域活性化に大きく貢献している。
	2	南あわじ市花づくり協会 (南あわじ市)	おおまた あきら 大亦 昭
		  <p>育苗作業</p> <p>市花スイセンの普及</p>	合併による南あわじ市誕生を機に、旧三原郡4町の花づくり団体が集まり設立（現在125団体加入）。花みどり豊かな「美しく住みよい街づくり」に取り組む。市内3ヶ所の育苗施設で年間4,5万本の花苗を生産、会員に無償配布し、公共施設や主要な沿道花壇での植栽やその維持管理を行うなど市内全域で緑化・美化活動を展開。花緑に関する研修や講習会を開催するほか、市との連携による市花スイセンの普及活動にも取り組んでいる。
	3	小谷区 (豊岡市)	みやじま ゆきひろ 宮嶋 幸広
		  <p>桜並木の植樹</p> <p>散策道の整備</p>	但東町小谷地区の活性化のため地域資源の再発見や様々な交流事業に取り組み、心豊かで住みやすい地域づくりを目指している。地域住民自らの手作業による桜並木の植樹や地域資源である京川城跡への散策道の整備など観光スポットづくりに取り組んでいる。また、モンゴルや神戸市からのホームステイ、農業体験の受け入れを積極的に行うなど、様々な交流による地域の発展にも寄与している。



部門	番号	表彰対象者（活動拠点）	代表者名
			概要
まちづくり活動部門（知事賞）	4	人形芝居えびす座 (西宮市)	たけち ひでみ 武地 秀実
		 <p>西宮神社での定期上演会 大道芸まつり</p>	西宮神社に古くから伝わるものの、100年以上途絶えていた人形芝居(人形浄瑠璃の源流)を現代風にアレンジして復興させ、国内外に広く発信するとともに、人形芝居を通じて地元西宮中央商店街や脇浜地域の活性化に取り組んでいる。西宮神社境内での定期上演会や商店街での「大道芸まつり」の年2回の開催等により商店街のイメージづくりに貢献。地元小・中学校等の教育現場にも参画し、伝統芸能の継承にも取り組んでいる。
	5	丹波の森花くらぶ (丹波市・篠山市)	まつもと 松本 ひとみ
		 <p>たんばオープンガーデン 花壇づくりワークショップ</p>	丹波地域特有の庭づくりを提案する「たんばオープンガーデン」の開催を通して、地域の良さの発見や人と人、人と自然の交流促進に取り組んでいる。オープンガーデンは、出展者、見学者とも年々増加しており、住民間の交流促進や地域コミュニティの活性化、まちの緑化に大きく貢献している。また、地域に密着した中間支援団体として、各地域での花緑活動団体の設立やその初期段階の活動支援も行っている。
	6	すくらむ住倶楽部 (篠山市)	そのだ ゆういち 園田 雄一
		 <p>古民家再生プロジェクト 職業体験会</p>	篠山市内の若手工務店経営者が連携して、地域の気候風土にあった住宅の供給体制を確保することにより、篠山の町並みの保全や技術の継承、地元での雇用機会の創出などを目的として活動している。また、地域内外の交流を広げる独自の取り組みとして、神戸芸工大と共同による「古民家再生プロジェクト」や地域の小学生を対象とした職業体験会の開催なども実施している。